

令和7年度 学校関係者評価書

令和8年3月10日

佐賀市立新栄小学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日

- ・令和8年2月6日（金）

(2) 資料（評価の参考とした資料）

- ・令和7年度学校評価（最終評価）

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・目標設定は非常によかった。成果はあったと思う。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・適切かつ妥当性があると思う。
- ・協議会で、学校の問題点を提示されたのがよかったと思う。
- ・地域に開かれた学校として、学校の事例についても共有していることは評価できる。

③改善方策の適切さ

- ・学校の事例については、全職員で考えて対応されていることが評価できる。
- ・さらに目標達成のための協議を行い、よりよい方向への指針を打ち出してもらいたい。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・様々な行事に参加して、子ども達の健やかな成長に感激している。
- ・指導5部会の活動（自律・尊重・創造）は今後ますます情報社会に必要な事だと思う。
- ・職員アンケート「国語の学びが好きになるような言語活動の設定」80%以上の職員が「できた」と回答しており、達成できていると考える。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・妥当であり、目標に向けた指導や実践に感謝している。

③改善方策の適切さ

- ・学校は働き方改革を更に進めてほしい。先生は肉体的・精神的に楽になり、余裕をもって児童に接していただきたい。
- ・学校・地域・保護者との情報共有・協働・連携は良い方向に進んでいると考える。

- ・地域事業に先生の姿を見かけないのが残念。少しだけでも姿を見せて欲しい。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・地域行事等への呼びかけを、幅広く行って欲しい。
- ・保護者とのコミュニケーションを十分とってほしい。
- ・保護者の多様化については学校の問題ではないので、地域の見守りや声掛けが必要だと考える。
- ・地域との関わりを密にして、学校・地域との関係を築いてほしい。
- ・現在の教育現場では ICT 教育は断片的に扱われていると思う。情報機器を活用し、自ら課題を発見し解決する力を養う事が必要ではないかと考える。あらゆる方策を地域・学校・保護者で協議すべきだと思う。